

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ヒト剖検脳における特定脳領域の受容体および遺伝子発現の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>各発達段階（幼児～少年、青年、成人）で 1～4 名ずつ脳の標本を調べます。1 つの部位につき 1～2 個の標本を使い、全部で 2～5 か所の脳領域を分析する予定です。</p> <p>新潟大学脳研究所病理学教室に対して 病理解剖、及び研究利用、保存の同意をいただいている方を対象としています。</p>
③概要	<p>本研究では、ヒトの脳組織を用いて遺伝子やタンパク質の働きを調べます。</p> <p>これまでにマウスを使った研究で見つかった特徴が、人間の脳でも同じように見られるかを確認します。</p> <p>研究対象者は死者であり、本研究に対して同意を得ている方になります。研究対象となる方は本研究に対していつでも拒否する機会があり、拒否しても不利益が生じることはありません。</p>
④申請番号	2025-0304
⑤研究の目的・意義	<p>本研究では、患者さんの脳標本の一部を分析し、マウスの実験で見つかった特定の遺伝子・タンパク質が人間にも当てはまるかを検証します。</p> <p>これらを比較することで、マウスで見つかった特徴が人間でもどれくらい共通しているのか、そして動物実験の結果が人の病気の研究や治療にどれほど役立つのかを調べます。この作業は、動物で得られた知識が人間にも当てはまるかどうかを判断するために欠かせないものです。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030 年 12 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>新潟大学脳研究所よりヒト剖検脳組織をオース大学へ提供します。</p> <p>研究の方法は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫組織化学（IHC）：脳の中でどんなタンパク質がどれくらいあるのかを確かめます。</li> <li>・RNAscope：特定の RNA をとても高い精度で見つけます。</li> <li>・マルチプレックス MarFish：1 つ 1 つの細胞の中で複数の RNA を同時に観察します。</li> </ul> <p>本研究において用いる試料は、病理解剖において提供済みの脳標本の一部です。個人情報（年齢、性別、医療歴、死因）は新潟大学において管理され、オース大学においては参照されません。また、すべての標本は転送前にコード化され、完全に特定の個人を識別できない様にします。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	ヒト剖検脳組織、個人情報（年齢、性別、医療歴、死因）
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。

	<p>【本学研究責任者】 新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野 教授 他田 真理</p> <p>【共同研究機関】 オーフス大学 バイオメディシン学部 准教授 谷村 あさみ オーフス大学 バイオメディシン学部 准教授 山脇 直樹 オーフス大学 バイオメディシン学部 ラボマネージャー Hande Login</p>
<p>㊤試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>新潟大学 脳研究所脳疾患標本資源解析学分野 教授 他田 真理 オーフス大学 バイオメディシン学部 准教授 谷村 あさみ</p>
<p>㊤お問い合わせ先</p>	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野 氏名：他田 真理 Tel：025-227-0636 E-mail：tadamari@bri.niigata-u.ac.jp</p>